

デーヴォ ガイド



2024.11.4-10

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(2~3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディポジションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?)1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか?)

④この世にあって何を実践しますか?

<65> 指揮者のために。賛歌。ダビデによる。歌。

65:1 神よ御前には静けさがありシオンには賛美があります。あなたに誓いが果たされま

65:2 祈りを聞かれる方よみもとにすべての肉なる者が参ります。

65:3 数々の咎が私を圧倒しています。しかし私たちの背きをあなたは赦してください。

65:4 幸いなことよあなたが選び近寄せられた人あなたの大庭に住む人は。私たちはあなたの家の良いものあなたの宮の聖なるもので満ち足ります。

65:5 私たちの救いの神よ。あなたは恐るべきみわざで義のうちに答えられます。あなたは地のすべての果て遠い大海の信頼の的です。

65:6 あなたは御力によって山々を堅く据え大能を帯びておられます。

65:7 あなたは海のとどろきを鎮められます。その大波のとどろきもろもろの国民の騒ぎを。

65:8 最果てに住む者もあなたの数々のしるしを恐れます。あなたは朝と夕の始まる所が高らかに歌うようにされます。

65:9 あなたは地を訪れ水を注ぎこれを大いに豊かにされます。神の川は水で満ちています。あなたはこうして地を整え人々の穀物を備えてください。

65:10 地のあぜ溝を水で満たしその畝をならし夕立で地を柔らかにしその生長を祝福されます。

65:11 あなたはその年に御恵みの冠をかぶらせま

います。

65:12 荒野の牧場に滴りもろもろの丘も喜びをまっています。

65:13 牧草地は羊の群れをまとい広やかな平原は穀物を覆いとしています。まことに喜び呼び歌っています。

ダビデは何度も主に願っては、長い苦難の中で忍耐して救いを待ち望んでいました。それでも「祈りを聞かれる方よ」と主への信頼は揺るがないで、主御自信をそのように呼んだのでした。

ここに私たちの解決の糸口があります。祈っても聞かれないときに、どうせ無理なのだと思ってしまうのは簡単です。しかしそれでは主からの大切なメッセージを聞くことはできません。もちろん祈りが何でもすぐに聞かれるとしたら、これもまた、主からのメッセージに耳を傾けることはできません。

祈りが直ぐに聞かれない、助けが直ぐに実現しないという中でこそ、聞ける主の御心があり、その御心こそが、私たちの生涯の宝なのです。一生の必要であり、勝利の力なのです。

私たちはどんなときも、主に対して、「祈りを聞かれる方よ」と信じて、その御前に出ましよう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



5日 火曜

詩篇

<指揮者のために。歌。賛歌。>

66:1 全地よ神に向かって喜び叫べ。

66:2 御名の栄光をほめ歌い神の誉れに栄光を帰せよ。

66:3 神に申し上げよ。「あなたのみわざはなんと恐ろしいことでしょう。偉大な御力のためにあなたの敵は御前にへつらい服します。

66:4 全地はあなたを伏し拝みます。あなたをほめ歌いあなたの御名をほめ歌います。」セラ

66:5 さあ神のみわざを見よ。神が人の子らになさることは恐ろしい。

66:6 神は海を乾いた所とされた。人々は川の中を歩いて渡った。さあ私たちは神にあって喜ぼう。

66:7 神はその御力をもってとこしえに続べ治めその目は国々を見張られる。どうか頑迷な者を高ぶらせないでください。セラ

主の偉大さを知った者が、自分のほめたたえる思いだけではものならず、「全地よ。神に向かって喜び叫べ。」と要求しています。万物が主をたたえることは当たり前のこととして、確信を持って言っているのが分ります。ここに信仰者の基礎があります。また伝道の確信があります。

自分は信じているけれど、それは自分だけで、他の人にまで勧めることはできないと思っているクリスチャンもいるのです。私たちは、「喜び叫べ」と宣言するように、全地に向かって主のすばらしさを宣言しましょう。人々にも宣教しましょう。



①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



6日 水曜

詩篇



66:8 国々の民よ私たちの神をほめたたえよ。神の誉れをたたえる声を響き渡らせよ。
66:9 神は私たちのたましいをいのちのうちに保ち私たちの足を揺るがされない。
66:10 神よまことにあなたは私たちを試し銀を精錬するように私たちを錬られました。
66:11 あなたは私たちを網に引き入れ私たちの腰に重荷を負わされました。
66:12 あなたは人々に私たちの頭をまたがせ私たちは火の中水の中を通りました。しかしあなたは私たちを豊かな所へ導き出してくださいました。
66:13 私は全焼のささげ物を携えてあなたの家に行き私の誓いをあなたに果たします。
66:14 それは私の苦しみのおきに唇を大きく開きこの口で申し上げた誓いです。
66:15 私は肥えたものを全焼のささげ物として雄羊のいけにえの煙とともにあなたに献げます。雄牛を雄やぎとともに献げます。セラ
66:16 さあ聞けすべて神を恐れる者たちよ。神が私のたましいになさったことを語ろう。
66:17 私はこの口で神を呼び求めこの舌で神をあがめた。
66:18 もしも不義を私が心のうちに見出すなら主は聞き入れてくださらない。
66:19 しかし確かに神は聞き入れ私の祈りの声に耳を傾けてくださった。
66:20 ほむべきかな神。神は私の祈りを退けず御恵みを私から取り去られなかった。

詩篇のヘブル語の題名はテヒリームと言って、それはたたえの歌を意味します。ただしそれは何も問題がなくて、楽天的に歌っているではありません。「銀を精錬するように、私たちを錬られました。」

というような、苦しみを乗り越えたところにある、たたえの歌なのです。

そこには、苦しいときの神への願いがあります。そしてその願いが聞かれたときの、「誓い」が生まれます。願いが聞かれても当たり前として、感謝もしないなら、それは傲慢というものです。

主への感謝をささげましょう。またかつての誓いは果たされているでしょうか。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



7日 木曜

詩篇

<67> 指揮者のために。弦楽器に合わせて。
賛歌。歌。

67:1 どうか神が私たちをあわれみ祝福し御顔を私たちの上に照り輝かせてくださいますように。セラ

67:2 あなたの道が地の上で御救いがすべての国々の間で知られるために。

67:3 神よ諸国の民があなたをほめたたえ諸国の民がみなあなたをほめたたえますように。

67:4 国々の民が喜びまた喜び歌いますように。それはあなたが公平に諸国の民をさばき地の国民を導かれるからです。セラ

67:5 神よ諸国の民があなたをほめたたえ諸国の民がみなあなたをほめたたえますように。

67:6 大地はその実りを産み出しました。神が私たちの神が私たちを祝福してくださいように。

67:7 神が私たちを祝福してくださり地の果てのすべての者が神を恐れますように。

祝福を祈る歌です。ただし、自分だけが祝福されれば良いというような、自分中心ではありません。「諸国の民があなたをほめたたえ、諸国の民がみなあなたをほめたたえますように。」というように、人々のためを思っていることです。

私たちはもちろん自分のために祈ることは良いことではあります。しかしそれも、宣教のためかどうか、主の栄光のためかどうか、それが大切です。この世の多くの人もクリスチャンが祝福された喜びに満たされているなら、主に心を向けるでしょう。そのために主に願いましょ。人はうわべを見ますが、主は心をご覧になります。



①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



8日 金曜

詩篇

<68> 指揮者のために。ダビデによる。賛歌。歌。

68:1 神は立ち上がりその敵は散り失せる。神を憎む者たちは御前から逃げ去る。
68:2 煙が追い払われるように追い払ってくだささい。ろうが火の前で溶け去るように悪しき者が神の御前から滅び失せますように。
68:3 しかし正しい者たちは小躍りして喜ぶ。神の御前で喜び楽しむ。
68:4 神に向かって歌い御名をほめ歌え。雲に乗って来られる方のために道を備えよ。その御名は【主】。その御前で喜び躍れ。
68:5 みなしごの父やもめのためのさばき人は聖なる住まいにおられる神。
68:6 神は孤独な者を家に住まわせ捕らわれ人を歓喜の歌声とともに導き出される。しかし頑迷な者は焦げつく地に住む。
68:7 神よあなたが御民に先立って出て行き荒れ野を進み行かれたときセラ
68:8 地は揺れ動き天も雨を降らせました。シナイにおられる神の御前で。イスラエルの神である神の御前で。
68:9 神よあなたは豊かな雨を注ぎ疲れたあなたのゆずりの地を堅く立てられました。
68:10 あなたの群れはその地に住みました。神よあなたはいつくしみをもって苦しむ者のために備えをされました。
68:11 主はみことばを与えてくださる。良き知らせを告げる女たちは大きな群れ。
68:12 軍勢の王たちは逃げまた逃げた。家に残った女たちは獲物を分け合う。
68:13 羊の囲いの中に横たわるとしてもあな



たがたは翼が銀でおおわれてきらめく黄金で羽がおおわれた鳩のようだ。
68:14 全能者が王たちをその地で散らされたときツアルモンには雪が降っていた。
68:15 神々しい山バシャンの山よ。峰を連ねた山バシャンの山よ。
68:16 峰を連ねた山々よ。なぜおまえたちはねたみ見るのか。神がその住まいとして望まれたあの山を。まことに【主】はとこしえにそこに住まわれる。
68:17 神の戦車は幾千万と数知れず。主はその中におられる。シナイの神は聖所の中に。
68:18 あなたは捕虜を引き連れていと高き所に上り人々に頑迷な者どもにさえ贈り物を与えられた。神であられる【主】がそこに住まわれるために。

主に救いを願っている歌です。主への信頼はどこから来るのでしょうか。それはかつての荒野での主のみわざを回想するところから来ています。「あなたの群れはその地に住みました。神よ。あなたは、いつくしみをもって苦しむ者のために備えをされました。」というように、主のみわざを思い起こしているのです。

信仰とは主を信じることです。また信仰の勝利とは主を信じ抜いて、その主から勝利が与えられることです。主を信じぬくために一番力になるのは、このように過去に主によって助けられた経験なのです。ですから過去の恵に感謝しましょう。感謝を主に表わしましょう。その信頼を心に留めましょう。そしてサタンの惑わしによる不信仰を払拭しましょう。

「主はみことばを与えてくださる。」ということが、歌として心を動かすものなのだと、詩人は理解しています。私たちは主のみことばに対して、それほど感動しているのでしょうか。

「バシャンの山」は異邦の地ですが、「住まいとして望まれたあの山」すなわちエルサレムをねたむほどに慕うと宣言されています。このように主は信仰のないところにもみわざをなさる方なのです。すなわち主の宣教のわざが進むのです。私たちは主を賛美する中で、そのような幻が与えられるようでありたいと思います。愛する人々の救いのためにも、主を賛美しつつ主の幻をいただきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？





68:19 ほむべきかな主。日々私たちの重荷を担われる方。この神こそ私たちの救い。セラ

68:20 神は私たちの救いの神。死を免れるのは私の主【神】による。

68:21 神は必ず敵の頭を打ち砕かれる。自分の罪過のうちを歩む者の毛深い脳天を。

68:22 主は言われた。「わたしはバシャンから彼らを連れ帰る。海の深みからも連れ帰る。

68:23 あなたが彼らを打ち砕き足を血に染めあなたの犬たちの舌が敵の血をなめるために。」

68:24 神よ人々はあなたの行列を見ました。聖所で私の王私の神の行列を。

68:25 歌い手が前を進み楽人が後に続く。タンバリンを鳴らすおとめたちのただ中を。

68:26 「相集って神をほめたたえよ。イスラエルの泉から【主】をほめたたえよ。」

68:27 そこには彼らを導く末子のベニヤミンがいる。その群れの中にはユダの君主たちゼブルンの君主たちナフタリの君主たちもいる。

68:28 あなたの神はあなたの力を現れさせました。神よあなたが私たちに示された力を。

68:29 エルサレムにあるあなたの宮のゆえに王たちはあなたに献上品を携えて来ます。

68:30 章の中の獣を叱ってください。国々の民の子牛を連れた雄牛の群れを。彼らは銀の品々を踏みつけています。戦いを喜ぶ国々の民を散らしてください。

68:31 貢ぎ物はエジプトから到来しクシュは神に向かって急いで手を伸ばします。

68:32 地の王国よ神に向かって歌え。主にほめ歌を歌え。セラ

68:33 いにしえから天の天を御される方に。聞け。神は御声を発せられる。力強い御声を。

68:34 力を神に帰せよ。威光はイスラエルの上に御力は雲の中にある。

68:35 神よあなたは恐るべき方。あなたはご自分の聖なる所におられます。イスラエルの神こそ力と勢いを御民にお与えになる方です。ほむべきかな神。

「ほむべきかな。日々、私たちの重荷をに担われる方。」とあります。なんと心強いことでしょうか。私たちは主に祈って、すぐに答えがないと、忘れられているのか〜とか、愛されていないのか〜などとじけてしまうような者ですが、実は主御自身は忘れるどころか、私たちの重荷をすでに負ってくださるのです。ですから主が共に苦しんでくださるのです。

その主の姿を聖霊によって見せていただきます。その主の心を聖霊によって感じさせていただきます。それはあの十字架に始まるものです。あの十字架は今も有効であり、私たちの今の重荷のためでもあったのです。そして主イエスは私たちのためにとりなしてくださるのです。

生涯かけて「神をほめたたえ」る聖徒らの行列に加わりましょう。そのような生き方をしましょう。主の前でいじける思いを捨てて、主を頼みのお方と信頼しましょう。

「貢ぎ物はエジプトから来、クシュは神に向かって急いで手を伸ばします。」とあります。異邦人が救われることが預言されていますが、まさに私たちこそが異邦人の救いの預言成就です。主のみわざの確かさに驚きつつ感謝しましょう。

またそのような主は、今まだ信じていない人々にもアプローチしておられます。主の救いのわざに期待して、伝えましょう。クリスマスシーズンに主のわざに期待して、その主のわざに参与させ

ていただきます。何ができるでしょうか。できることから始めて、その後にまた主の導きを求めましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



<69> 指揮者のために。「ゆりの花」の調べにのせて。ダビデによる。

- 69:1 神よ私をお救いください。水が喉にまで入って来ました。
- 69:2 私は深い泥沼に沈み足がかりもありません。私は大水の底に陥り奔流が私を押し流しています。
- 69:3 私は叫んで疲れ果て喉は渇き目も衰え果てました。私の神を待ちわびて。
- 69:4 ゆえなく私を憎む者は私の髪の毛よりも多く私を滅ぼそうとする者私の敵偽り者は強いのです。私は奪わなかった物さえ返さなければならぬのですか。
- 69:5 神よあなたは私の愚かさをご存じです。私の数々の罪過はあなたに隠されていません。
- 69:6 万軍の【神】主よあなたを待ち望む者たちが私のために恥を見ないようにしてください。イスラエルの神よあなたを慕い求める者たちが私のために卑しめられないようにしてください。
- 69:7 あなたのことで私はそしりを受け恥辱が私の顔をおおっているのです。
- 69:8 私は自分の兄弟からのけ者にされ母の子らにはよそ者となりました。
- 69:9 それはあなたの家を思う熱心が私を食い尽くしあなたを嘲る者たちの嘲りが私に降りかかったからです。
- 69:10 私が断食しわが身を泣き悲しむとそれが私への嘲りのもととなりました。
- 69:11 私が粗布を自分の衣とすると私は彼らの物笑いの種となりました。
- 69:12 門に座る者たちは私のうわさ話をし私

は酔いどれの歌になりました。

ダビデは息子アブシャロムの反逆のゆえに苦しめられて、歌ったものです。どれほどの悲しみかと察することができます。このようなときにも、私たちクリスチャンにはすることがあります。それは主に祈り「叫ぶ」ことです。

その中でダビデは自分の犯した罪を忘れることができませんでした。「神よ。あなたは私の愚かしさをご存じです。私の数々の罪過はあなたに隠されていません。」と歌うのですが、その時彼は、自分を赦してくださいというのではなく、「あなたを待ち望む者たちが、私のために恥を見ないようにしてください。」と、神の民のために祈っています。

ここに主への悔い改めの実をみる事ができません。私たちが悔い改めることは色々あるでしょうが、何よりも他の人々のことや主の共同体のことを考えましょう。そこに主からの視点が生まれます。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

